

第九十三回企画展

やま しな よし まろ

『山階芳麿博士の作った図鑑』  
『日本の鳥類と其の生態』ができるまで

共催：公益財団法人 山階鳥類研究所

2024. 7.13〔土〕 - 11.4〔月・祝〕

【開館時間】午前9時30分～午後4時30分 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合、翌平日)【入館料】一般300円、大学・高校生200円、70歳以上・中学生以下・障害者手帳をお持ちの方(含介護者1名)は無料 20名以上の団体は入館料2割引【問い合わせ】千葉県我孫子市高野山234-3 ☎04-7185-2212



第93回企画展「<sup>やま しな よし まろ</sup>山階芳麿博士の作った図鑑」  
—『日本の鳥類と其の生態』ができるまで—

山階鳥類研究所の創設者である山階芳麿博士は、1934年と1941年に『日本の鳥類と其の生態』という全2巻の図鑑を出版しました。この図鑑は、通称「山階図鑑」と呼ばれ、出版から90年が経った現在においても、多くの鳥類の研究をする人たちに活用されています。今回は、山階鳥類研究所の我孫子市への移転40周年を記念し、この図鑑の内容や、山階博士をはじめとする制作にかかわった人々の仕事について資料とともにご紹介します。



『日本の鳥類と其の生態』

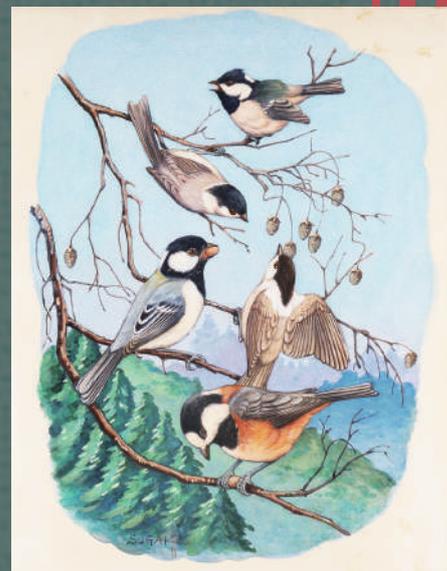


版木



原画(ヨタカ)

「山階図鑑」に使用された原画、木口木版の版木、すり見本は、歴史的価値のある重要な資料です。本企画展では、山階鳥類研究所に保管されていた版木や原画、山階博士の指示の入ったすり見本の実物を展示します。



山階壽賀子夫人が描いたカラ類図版の原画

本邦初公開



博物画家・小林重三が描いたモーリシャスインコの原画

鳥類学者・蜂須賀正氏のドーダーなど絶滅鳥を扱った著書(1953)に掲載された図の1枚(所蔵:熱海市立図書館)。山階図鑑の多くの図は小林が描きました。



山階博士が使っていた双眼鏡

●一部展示の入れ替えがあります  
前期:7月13日(土)~8月16日(金)  
中期:8月17日(土)~9月20日(金)  
後期:9月21日(土)~11月4日(月・祝)

イベント情報

イベントの詳細については、鳥の博物館ウェブサイトをご覧ください

●鳥博セミナー

「もう一つの木版画 木口木版画・西洋と日本の歴史と技法 山階図鑑のイラストに使用された版画」

日時:9/22(日) 13:00~15:00

場所:鳥の博物館

定員:先着50名(電話予約)

講師:長島 充さん(画家・版画家)

内容:木口木版画の技法や西洋・日本での歴史についてお話しします。また版画の実演も行います。



“桜花に四十雀”  
木口木版画 長島充作

●鳥のサイエンストーク

「山階図鑑とはどういうものだったのか」  
日時:8/17(土) 13:30~14:15

講師:鶴見みや古さん(山階鳥類研究所)  
オンライン開催・申し込み不要・参加無料

●企画展を担当した山階鳥類研究所員によるギャラリートーク

日時:8/31(土)、10/6(日) 13:30~14:30  
場所:鳥の博物館企画展示室

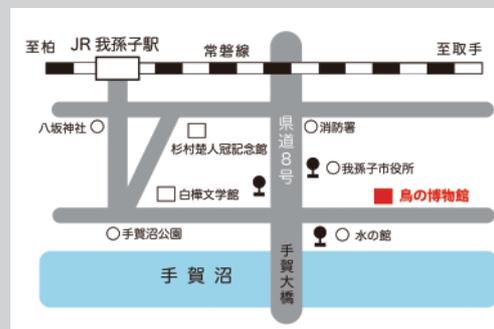
●鳥の博物館へのアクセス

【公共交通機関】

JR常磐線我孫子駅南口から市役所経由のバスで「市役所」下車、徒歩5分  
\*無料駐車場あり

【問い合わせ】

千葉県我孫子市高野山234-3  
電話04-7185-2212



企画展記念スタンプをおしてね!